

# 全国大会の感想

令和5年度第七十回  
全国高等学校ビジネス計算競技大会  
七月二十五日

三沢商業高等学校 三年 新館 倅幸和

私たちは七月二十五日に横浜武道館で行われた第七十回全国高等学校ビジネス計算競技大会に出場してきました。今年度も昨年度に引き続き、珠算・電卓の両競技ともに全国優勝を目標とし、日々の練習に取り組んできました。目標には届きませんでした。珠算の部団体5位、電卓の部団体7位という成績を残すことができました。両競技ともに昨年度を上回る成績を残せたことが嬉しかったです。私が三年間競技に集中できていたのは、応援してくれた先生方や支えてくれた仲間のおかげです。一、二年生には支えてくれる方への感謝の気持ちを忘れず、高みを目指して練習に取り組み、東北大会や全国大会等で活躍できる選手になってほしいです。



八戸商業高等学校 二年 上沢 春華  
私は今回の全国大会に向けて、「三つある競技の中で一つ以上入賞する」という目標を掲げていました。結果、応用計算競技と読上算競技の二つで入賞することができました。しかし、無事目標を達成することができ安心したのとは裏腹に、あまり満足のいく結果だったとは思っていません。総合競技はあと一問というところで入賞を逃してしまい、種目別競技でも、まだ粘ることができたのではないかとと思うような結果となってしまい、悔しい気持ちが残っています。この悔しい気持ちを糧にし、今後一年間の練習に臨んでいこうと思います。来年も必ず全国大会に出場し、今年以上の結果を残します。



青森県高等学校商業教育研究会

研究誌編集委員会 発行

編集 弘前実業高等学校

三沢商業高等学校

青森商業高等学校

西館 大輔

山田 真菜

榎 晃太

令和5年度第七十回  
全国高等学校ワープロ競技大会  
八月三日

三沢商業高等学校 三年 中村 渥玖

今回の全国大会では、団体の部第6位、個人の部では佳良賞二名、正確賞一名という成果を残すことができました。全国大会を経験していた部員が二名いたこともあり、準備も滞りなく進めることができました。また、強豪校の打ち方も見学することができたので、今後繋げることができると思います。たくさんの方が強い、と自信を持って自分らしいタイピングをすることができました。個々で反省すべきところは自分で分かっていると思います。その反省点を活かして、更なる活躍を願っています。

八戸商業高等学校 二年 西村 美宇

今大会は、全国の予選大会を勝ち抜いた団体および個人の235名が参加しました。そのため、会場の雰囲気がいっつもと違うことが分かりました。私の周りの人たちも練習の時から打つスピードが速く圧倒されてしまい、一番力を発揮しなければならぬ本番では思うように打つことができずして、私は平均打数に届かず1,252打でした。持てる力を十分に発揮できずとも残念でしたが、この悔しさをバネに平常心を忘れずに本番に挑めるように常にどの問題でも本番だと思って練習に取り組んでいきたいです。今回の経験は、今後の就職・進学活動に向けても十分に活かされると思います。貴重な経験ができたことへの感謝と反省をして、来年度の全国大会も必ず出場するという意気込みで頑張ります。応援ありがとうございました。



令和5年度第三十九回  
全国高等学校簿記競技大会  
七月十六日

弘前実業高等学校 三年 下山 瑞姫

私が初めての全国大会で感じたことは、緊張すると普段通りにはできないということです。とても広い教室にたくさんの方がいる中で問題を解くことがなかったため、とても緊張していました。その上、周りの人の電卓で計算する音が早く焦りがあり、数カ所計算ミスをしてしまいました。終わった後に、落ちついて考えると解ける問題が数問あったので悔しかったです。学校で問題を解くよりも集中力が続かなかったため、環境の変化が結果に大きな影響を与えることを感じました。普段よりも点数が低かったし、目標には届かなかったが、予想よりも順位が高かったため日々の努力が報われたように感じました。初めてのことが多く、良い経験になりました。

三沢商業高等学校 二年 吉田 優月

私たちは、七月十六日に東京都の日本大学で行われた第三十九回全国高等学校簿記競技大会に出場しました。普段とは違う慣れない環境でも緊張し手がうまく動きませんでしたが、それでもこれまで頑張ってきたことを思い出し、目標としていた「入賞」はできませんでした。最後まで全力を尽くすことができ、良い経験になりました。私たちは二年生なので来年も全国大会に行くチャンスがあります。今回の全国大会の反省や気づいたことを生かし、来年、もう一度全国大会に行けるように日々の練習を頑張っていきたいと思えます。



# 全国大会の感想

令和5年度第三十五回  
全国高等学校情報処理競技大会  
七月二十三日

八戸商業高等学校 二年 沼澤 獅音

私たちは七月に東京都の日本大学を会場に行われた、第三十五回全国情報処理競技大会に青森県代表として団体で出場しました。結果は団体26位で、目標としていた10位入賞には届かない結果となりました。結果を振り返ると、自分たちの力不足により、他県との実力の差を大きく感じました。来年に行われる情報処理競技大会に向けて、さらに研鑽を積み、今回の結果を大きく上回るような成績を残すことができるように努力していきたいと思えます。

三沢商業高等学校 二年 澤下 侑良

私たちは予選準優勝だったため、団体出場ではなく個人として出場しました。常連校、強豪校がそろう中、緊張でベンが震えていましたが、今までやってきたことを思い出し自分の実力を出し切ることができました。目標は半分以内に入ることでしたが、参加231人中67位という成績を残すことができました。今回の経験をもとに来年は県大会を準優勝ではなく優勝で通過し、団体で全国大会に行きたいと望んでいます。

また、全国問題は県大会問題とは比較にならないほど難しいので一年生、二年生ともに知識を合わせ、困ったときには先導者である先輩を頼り、文殊の知恵を作り個人としても団体としても全国大会で良い結果を残したいと思っています。



令和5年度第四十回  
全国商業高等学校英語スピーチコンテスト  
九月十七日

八戸商業高等学校 三年 坂本 ころろ

私は目標にしていた全国大会に出場し、私のスピーチを大きな会場で多くの人に聞いてもらえてとても嬉しかったです。多くの人の前で話すことが苦手な私は本番前、緊張で不安に押しつぶされそうでした。

いざ壇上になると思っていた風景とは違い、みんなが私の意見を真剣に聞いてくれ、スピーチ後に壇上から見た景色は今までに見たことのない景色で感銘を受けました。その時の拍手の音、光景はずっと忘れることはないと思います。結果は報われませんでした。春からずっと一緒に練習してくれたスーザン先生、この貴重な経験をする機会を下さった前田先生、そしてスピーチのテーマにもなり、辛い時にも私を支えてくれた母に感謝しながら生活していきたいです。



## 運動部の活躍

### 令和5年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会



弘前実業高等学校 三年 樋口 拓海

今年の北海道インターハイは4年ぶりに制限のない中で行うことができました。去年のインターハイと比べ、チームの応援による盛り上がりや、選手の一点一点の喜びが印象深く残りました。そして、制限のない中でスポーツができることへの楽しさと喜びを感じました。

私は残念ながら勝つことはできませんでしたが、指導、サポートして下さったたくさんの人へ勝って恩返しすることができなかつたことへ悔しさを感じました。

弘実で三年間ソフトテニスができる、とても幸せでした。充実した三年間はとても楽しかったです。恵まれた環境でできることに感謝しています。



弘前実業高等学校 三年 清水 里帆

私は、今年の夏に初めて最後のインターハイに出場してきました。全国レベルの選手と戦うことができ、とても貴重な経験になりました。結果は初戦敗退でしたが、三年間で自分がやってきたことを全力でやりきったので悔いはありません。インターハイを終えて振り返ると、一緒に練習してきた部活の仲間との存在の重要性に気づきました。部員全員で切磋琢磨しあつたことでインターハイに出場できたと思います。実業のチームと一緒に三年間テニスができることも良かったです。指導して下さった先生方やコーチの方々、そして応援してくれた両親にとっても感謝しています。

# 台湾祭

## 青森県立弘前実業高等学校

三年 榎方 修幸

私は、課題研究の一環で七月二十七日から二十九日の三日間台湾祭に参加しました。私たちのグループは中華味というキッチンカーで小籠包などを販売しているお店に協力していただき出店しました。そこで私は、会計を担当することになりました。台湾祭では、日本円をT N \$というお金に換金して使うというユニークな方法で運営しました。私はそのT N \$を数えて、売上計算の仕事をしました。ミスが許されない仕事だったので、何度も何度も枚数をチェックしました。他のみんなが接客やお客様の呼び込みなど表の方で頑張っている中、私は裏方の仕事に徹しました。普段は絶対に経験できない貴重な事をしているなど実感しながら、台湾祭を終えることができました。

## 青森県立弘前実業高等学校

三年 山内 彩

私が台湾祭で学んだことは、売る側の販売の工夫次第でお客様の行動が変化していくことです。私たち弘前実業高校が工夫したことは、写真付き値札をテントの屋根に貼り、お客様が遠くからでも商品の写真が見られる工夫をしました。その結果、この工夫をした日としていない日とでは一日の売上金額に大きな差が出ました。様々な工夫をしてみても、成功しただけでなく、たくさん失敗したことから新しい知識を得られました。また、各店舗でそれぞれの取り組みがあって勉強になることも多かったです。二日間出会った人たちが、経験したことは私にとって忘れられない思い出になりました。台湾祭に参加できて本当に良かったです！



昨年度から取り組まれている台湾事業ですが、今年はいよいよ青森市で台湾祭が開催されました。たくさんの方の協力のおかげで、台湾料理などの提供がされました。普段の青森駅前とは一変し、まるで台湾にいるかのような演出で、賑わいを見せていました。活動をした生徒たちは、販売実習を通して、ビジネスの魅力や大変さを感じたようです。

## 青森県立八戸商業高等学校

三年 土畑 那緒

私は台湾祭の活動を通して販売活動を行う楽しさを味わいながら、臨機応変に対応する力を向上させることができました。台湾祭を開催するまでの準備では積極的に意見を出し、活動をスムーズに進めることができました。しかし、「点心工房」の出店依頼の商談の際に誰がどの説明をするかの役割分担ができていなかったため、自分たちで企画の説明をすることができませんでした。そのため「chiao chiao Taiwan」の商談では反省を活かし役割分担を決めたことで、うまく説明することができました。台湾祭当日は多くのお客様に来ていただきとても盛り上がりました。接客をする際に、ゆっくりはきはきと話すことや注文を繰り返して確認するなどを意識して取り組むことができたと思います。この台湾祭での経験を八商バザーにも活かしていきたいと思っています。



## 青森県立青森商業高等学校

三年 大山 莉奈

不安もありましたが、スムーズに進んでいきました。販売の仕方について現金でしているところがあつたので改善が必要と感じました。お客様に「来年もあるといいのね！」と言ってくれた事が、私達の活動を認めていただいた気がしました。また、今までにない沢山の思いの詰まった「ありがとう」がございました。という言葉を言う機会が多かったのは準備と沢山、協力してくださった大人の皆さま、他校を含めた生徒の皆さんのおかげです。コロナ禍で今まで沢山の学校行事をすることができなかった私達への学校からの大きなプレゼントだと感じました。最後まで挫けそうになっても諦めない事を台湾祭で学ぶことができて本当に良かったです。



## 青森県立三沢商業高等学校

三年 古林 詩愛

昨年、三年生で履修する課題研究の班編成についての説明時に、台湾に関する研究をする班があることを聞き、海外に興味があった私は、迷うことなく台湾班を希望しました。私を含めた七名が四月から台湾と三沢の特色を橋渡しする事を目標に活動しています。その最初の活動が青森商業が中心となり、県内の商業生が参加のもと青森市の駅前公園で実施された台湾祭への取り組みでした。台湾祭において私たちの役割は、台湾に関する商品を販売するため、二日間実施される台湾祭で実際に販売して頂ける企業を探すと販売に必要な諸活動を行うことでした。協力してくださる企業を探すにあたり、他校の情報を探し参考に、三沢市の飲食店をターゲットとして協力依頼をしました。しかしながら、どのお店の方からも良い返事を頂くことができず、焦りを感じた事を思い出します。台湾と三沢の架け橋となる事を目的にしましたが、範囲を広めたところ、十和田市で台湾の雑貨や料理を提供している霞株式会社様から詳しい話しを聞きたいと、初めて可能性を感じられるお言葉を頂きました。そこから霞様とのやり取りを重ね、当日は霞様と共に霞様の商品四種類を台湾祭において販売する事ができました。霞様のご協力により商品の決定や価格設定、ポップ制作やPR動画の撮影、実際の販売と会計等、様々な販売活動を実践させて頂きました。今後の活動に生かして目標の達成に向けて活動を続けていきます。



台湾の架空の街 台猫

～舞い上げれ！ショーキョー族～

# 台湾祭

日時 令和5年 7月28日(金) 10:00~19:00  
令和5年 7月29日(土) 10:00~18:00

場所 AOMORI STARTUP CENTER (青森商工会館所1階) および 青森駅前公園

# インターシップ・職場体験実習

新型コロナウイルスの拡大で実施できていなかったインターシップですが、各校再開しているようです。実施した各校の生徒に感想を聞きました。中学校で体験をしていて二度目のインターシップとなる生徒、初めて体験をした生徒、それぞれの心構えは違いましたが、各実習場所での新たな学びを得たようです。

インターシップを通して、返事や挨拶、コミュニケーション能力など当たり前のことを身に付け、社会に出るための準備をして欲しいと思います。インターシップ・職場体験で学んだことを、今後の学校生活にも活かしていきたいと思います。

## 青森商業高等学校

一年 辻村 希星

私は二日間ともに青森中央郵便局で働く方に対して、元気良い挨拶や返事、「よろしくお願ひします」や「ありがとうございます」などの声掛けなどを心掛けました。やはり、挨拶を返されると嬉しい気持ちになりますし、実際に青森中央郵便局でも互いへの挨拶によって円滑に仕事を進めることができていると感じました。

二日目の花壇の植え替え作業では日差しが強い中、一生懸命作業しました。きれいに植え替えできて「花壇に活気がみなぎったように感じる」とお褒めの言葉をいただくことができました。チラシ配りや窓口対応は実際にお客様を相手にしたので緊張しましたが、丁寧な言葉遣いと礼儀正しい態度を心掛けて



良い対応をすることができました。

## 青森県立鯉ヶ沢高等学校

二年 豊澤 悠真

私はつがる森林組合でインターシップを行いました。一日目の作業は、木を枯らす虫がいる木を探すことでした。調べ方が二つあり、緑色の葉の中に枯れている葉があるかで見分ける方法と木に木くずがついているかで見分ける方法です。一本でもそのような木があると周りの木にも虫がいる可能性があると言われ、一本見つけるとに周囲の木は大丈夫か探しました。虫がいる木にはバツ印をスプレーで書いてナンバプレートをつけていきました。二日目の作業は、松の木の栽培、整備されている場所の点検でした。朝から車で長時間の移動で、徒歩で行く場所も数多くあり、驚きました。自分の実習時は三つの場所しか行けなかったですが、一日で四ヶ所行くことがあると言われました。整備されている場所の広さは鯉ヶ沢高校の校舎が丸々入ったことは、たった二日間の実習期間でしたが仕事はすごく疲れるということと、どんな仕事にも責任があり、やりがいを感じるから続けられるということでした。私にとってインターシップは、進路を考える大きなきっかけになりました。



## 青森県立三沢商業高等学校

一年 名久井 琳仁

今回の三日間で僕は様々なことを学びました。自衛隊は礼儀を大切にしているので、気をつけや休めなどを長い時間練習しました。今までやってきたものとは全く違い、できるか不安でしたが、最終的には出来るようになりました。学校に戻ったら、一段階レベルアップした気をつけや休めを友人に見せたいなと感じました。陸上自衛隊ではほとんどの時間、防弾チョッキを身に付けて、鉄の帽子をかぶって、約三十キロもの重さの荷物を抱えながら走り、移動したりするのでとても大変でした。体力も、強い精神力も必要な仕事だと分かりました。また、自衛隊は厳しいことばかりだと思っていたけれど、厳しいことだけではなく、楽しいことやうれしいこともあることが分かりました。今回学んだことを学校生活で活かしたいと思います。



## 青森県立八戸商業高等学校

二年 木村 心音

今回の職場体験実習で、八戸市庁にお世話になりました。市民に関することから、八戸の発展に関することまで幅広い活動をしていることを知る事ができました。三日間を通して出納室、財政課、産業労政課などで業務の体験やお話を伺いました。体験することの全てがはじめてで緊張していた私に、大変温かく指導してくださいました。わからないところはとても優しく丁寧に教えていただきました。また、さまざまな企業や施設の見学をして、八戸市の課題や政策について知ることができ、とても良い経験になりました。

私は将来、公務員になりたいと考えているので、今回の職場体験実習で学んだことを活かしていきたいと思っています。三日間にわたり貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

